

第168回 日本体力医学会関東地方会

運動は内臓疾患の予防・改善に有効か？



日時：2016/12/3 (土) 14:00 - 18:30

会場：首都大学東京 荒川キャンパス

当番幹事：渡辺 賢 (首都大学東京・人間健康科学研究科)

主催：日本体力医学会関東地方会

プログラム

開催挨拶：13：59

I 特別講演（市民公開講座） 14：00-15：00

座長：渡辺 賢（首都大学東京 人間健康科学研究科）

運動はなぜ糖尿病を予防・改善するのか？

眞鍋 康子（首都大学東京 人間健康科学研究科 ヘルスプロモーションサイエンス学域）

II シンポジウム 15:00-16:20

運動による内臓疾患予防と改善のメカニズムを探る

座長：竹森 重（東京慈恵会医科大学 分子生理学講座）

1. メタボリックシンドロームと運動療法

根本 昌実（東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 総合内科）

2. 心臓リハビリテーションの効果 ―身体・呼吸機能に注目して―

田屋 雅信（東京大学医学部附属病院リハビリテーション部
循環器内科・心臓リハビリテーション部）

3. 心臓の虚血再灌流障害に対する運動の効果

柿木 亮（順天堂大学 医学部 生理学第二講座）

4. 運動は肥満に有効か？脂肪細胞の機能変化に着目して

小笠原 準悦（杏林大学医学部 衛生学公衆衛生学教室）

III 一般口頭発表 A 16:25-17:25 ○は優秀演題賞応募演題

座長：古川 順光（首都大学東京 人間健康科学研究科）

A-1. 一過性の持久的運動が肥満ラットの骨格筋内脂質に及ぼす影響○

高木 香奈（順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科）

A-2. 運動前のカゼインペプチドの摂取は、カゼイン摂取と比較して高脂肪食摂食に伴う

内臓脂肪蓄積と糖代謝異常を改善する○

松永 裕（森永乳業株式会社 健康栄養科学研究所）

A-3. 長期間の高脂肪食摂取は筋線維タイプを変化させ発揮筋力の低下を引き起こす○

江島 弘晃（順天堂大学大学院 代謝内分泌内科学/スポーツロジセンター）

第 168 回日本体力医学会 関東地方会 プログラム

A-4. 長期間の高強度持久的運動トレーニングによる骨格筋内のアシルカルニチン分子種濃度の変動○
川西 範明 (順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科)

A-5. 高強度インターバルトレーニングによる骨格筋ミトコンドリアの適応と乳酸○
星野 太佑 (東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻)

A-6. ショウジョウバエを利用したマイオカインの生理機能重要度評価○
青木 友那 (首都大学東京 人間健康科学研究科 ヘルスプロモーションサイエンス学域)

IV 一般口頭発表 B 17:30-18:30 ○は優秀演題賞応募演題

座長：来間 弘展 (首都大学東京 人間健康科学研究科)

B-1. 運動条件の違いによる抗うつ作用とセロトニン神経活動との関連○
森川 涼子 (首都大学東京 人間健康科学研究科 ヘルスプロモーションサイエンス学域)

B-2. アネロビックとエアロビック作業能力が3分間全力ペダリングのパワー発揮に与える影響○
藤戸 靖則 (日本体育大学大学院 トレーニング科学系)

B-3. 肉眼解剖とMagnetic Resonance Imaging(MRI)による内転筋機能の検討○
平野 和宏 (東京慈恵会医科大学 リハビリテーション科)

B-4. 投能力を向上させる新たな教材・教具としてのメンコ遊びの可能性
～小学校1・3・5年生の男子児童を対象とした調査から～○
塩崎 七穂 (帝京平成大学)

B-5. 子どもロコモティブシンドロームの現状把握と疼痛・転倒の関連性の調査○
松田 雅弘 (植草学園大学 保健医療学部 理学療法学科)

B-6. 持続的筋力発揮時の運動単位筋振動信号増大と放電間隔依存性及び放電量の活動履歴
森本 茂 (東京慈恵会医科大学 分子生理学講座)

V 第 169 回日本体力医学会関東地方会のお知らせ 18:30-18:32

高波 嘉一 (大妻女子大学 家政学部食物学科)

VII 閉会挨拶及び優秀演題賞表彰 18:32-18:37

VIII 情報交換会 19:00～20:30 管理厚生棟1階食堂にて

会費 1,000円となっておりますので、当日、受付にてお申込み下さい。

発表に関する注意事項

当日、会場にてまず参加受付及び発表受付を済ませてください。

発表時間

特別講演(市民公開講座)は発表・質問込みで 60 分

シンポジウムは発表 15 分、質疑応答 2 分の合計 17 分

一般口頭発表は発表時 7 分、質疑応答 2 分の合計 9 分

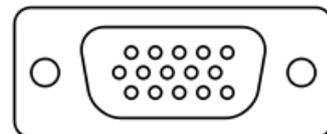
一般口頭発表については発表時間 7 分で 1 鈴、8 分で 2 鈴、9 分(質疑応答終了)で 3 鈴を鳴らしてお知らせします。一般口頭発表以外の方は座長の指示に従ってください。

発表形式

PC のみ(スライドやビデオ等は不可)です。発表は原則としてご自分の PC を会場に持ち込み、DE-15(ミニ D-Sub 15 ピン;VGA 端子)のコネクタに接続願います。mini Display-port:VGA 接続、及び HDMI:VGA 接続用コネクタは、会場に用意致します。PC 持ち込みが出来ない場合は、USB メモリを持参し、会場 PC をご使用ください。その場合は、ご自身の発表前の休憩時間に PC 受付で試写を済ませてください。事務局で用意する PC の OS は Windows10、PowerPoint2007 です。動画等の再生が出来ないこともございますので予めご了承下さい。

レーザーポインタは事務局が用意します。

VGA 端子



討論・質疑応答

座長の指示に従い、ご自身の所属、氏名を述べてから発言してください。

参加者の方へ

○本地方会では、経費節減と地球環境への配慮から、印刷した抄録集は基本的には配布致しません。予め、HP または受付で抄録集をダウンロード願います。受付には抄録集ファイルの入った USB メモリを用意致します。印刷した抄録集は一部 500 円で、当日受付で販売致します。

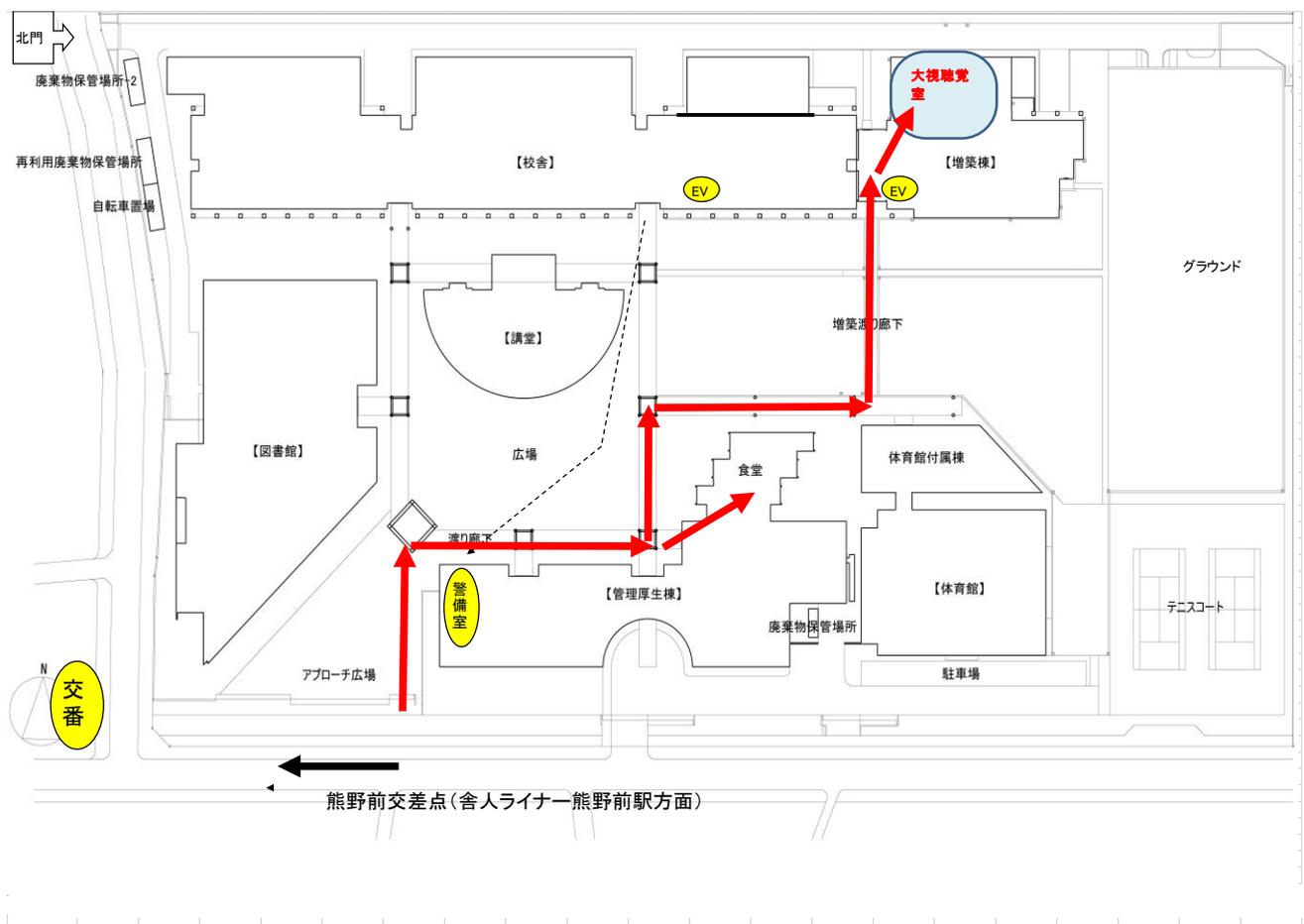
○シンポジウム及び一般口頭発表において、質疑応答を行うことが出来るのは、シンポジストまたは日本体力医学会会員に限ります。

アクセスおよびキャンパスマップ

- 日暮里駅・西日暮里駅から 舎人ライナー「熊野前」駅下車 徒歩 3 分
- 王子駅・町屋駅から 都電荒川線「熊野前」駅下車 徒歩 3 分
- 田端駅から 都営バス(端 44 系統)「北千住駅行」に乗車
「首都大荒川キャンパス前」下車 徒歩 0 分
- 北千住駅から 都営バス(端 44 系統)「駒込病院行」に乗車
「首都大荒川キャンパス前」下車 徒歩 0 分



特別講演(市民公開講座)・シンポジウム・一般口頭発表は校舎棟 1 階大視聴覚室
情報交換会は管理厚生棟 1 階食堂で実施致します。



第 169 回日本体力医学会関東地方会のお知らせ

開催日:平成 29 年 3 月 18 日(土)13:00~18:00

会 場:大妻女子大学千代田キャンパス(使用教室は未定)

東京都千代田区三番町 12(<http://www.otsuma.ac.jp/>)

JR 総武線, 東京メトロ有楽町線・市ヶ谷駅から徒歩 10 分

東京メトロ半蔵門線・半蔵門駅より徒歩 5 分

東京メトロ東西線・九段下駅より徒歩 12 分

[一般演題の締め切り予定:平成 29 年 2 月 18 日(土)]

大会長:高波 嘉一(大妻女子大学家政学部食物学科)

Tel & Fax: 03-5275-6046

E-mail: yoshi.takanami@otsuma.ac.jp

教育講演:

「高め強度インターバルトレーニング～体力低位者への適用～」

演者:松尾 知明(独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所)

特別講演:

「褐色脂肪組織の増加・活性化と生活習慣病の予防」

演者:浜岡 隆文(東京医科大学健康増進スポーツ医学分野)

シンポジウム:

「女性アスリートの減量にまつわる諸問題」

演者:須永 美歌子(日本体育大学)

松本 恵(日本大学)

小清水 孝子(大妻女子大学)

村田 由香里(日本体育大学, シドニーオリンピック新体操日本代表選手)